

# 授業科目 地域看護活動演習 II

【担当教員名】 宇田 優子、杉本 洋、島貫 秀樹		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	○	○	○	
【概要・一般目標：G10】 地域において個人や集団を対象として展開される保健指導の方法を、演習を通して習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人々の健康行動の特徴と効果的な保健指導の方法を説明する。</li> <li>2. 個人および集団を対象とした保健指導計画を立案する。</li> <li>3. 既習の理論を活用し、対象にあわせた保健指導を展開する。</li> <li>4. 実施した保健指導の評価方法を説明する。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	個人を対象とした健康相談の方法を理解する。			1-4	講義・グループワーク
2	相談援助の基礎的な技術を習得する。			1-4	講義・演習・グループワーク
3	家庭訪問の目的と方法を理解する。			1-4	講義・グループワーク
4	家庭訪問の基礎的な技術を習得する。			1-4	講義・演習・グループワーク
5	支援経過記録、活動記録の意義と記載方法について理解できる。			1-4	講義・演習
6	支援経過記録、活動記録を記載する技術を習得する。			1-4	演習・個人ワーク、グループワーク
7	集団を対象とした健康教育の目的と方法が理解できる。			1-4	演習・グループワーク
8-12	健康教育計画の立案、健康教育シナリオと教材の作成ができる。			1-4	演習・グループワーク
13-14	健康教育の実施			1-4	実技演習
15	まとめ			1-4	講義
授業内容・順番は変更する場合があります					
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		三訂 地域看護学 新版 保健師業務要覧 第2版	津村智恵子	中央法規 日本看護協会出版	1年次に購入したものを使用する 2008・5,040円・2年次に購入したものを 持参すること
参考書					
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況や演習への取り組みと筆記試験・レポートを総合的に評価する。		地域看護学実習Ⅰで必要となる知識や技術である。 グループワークを中心に演習を展開しますが、実習を意識して学生一人ひとりが確実に技術を習得するように取り組んでください。			